

川崎で、グッド・アクション！

かわさき市民活動センター | ボランティア・市民活動情報紙

川崎市内のボランティア・市民活動は
<http://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/>



得意なことは、ダンス。

それから、瞬時に
人の素敵なところを
見つけられること！

高津区在住

今号のカバーSTORY ダンサー/振付家/Dancensemble (ダンスンブル) 主宰 藤平真梨 ふじひら・まり さん

藤平さんはプロフェッショナルのダンサーですが、「アーティストじゃなくても、誰もが自由に表現できる」といいな、楽しいといいな」と言います。その思いに共感する運営チームは20人に増えました。屋外でダンスを楽しむ「青空ダンス広場」は、NEC公開空地での企業×行政×市民団体のコラボ企画として中原区下沼部(しもぬまべ)で再起動。より多世代の人々が参加しています。この夏は、登戸・多摩川カワノバにて「かわらディスコ」ほか親子で楽しめるダンスワークショップも開催。——日常の動きもダンスに。踊ることが難しいと思う人も、自分のダンスを楽しめるように。踊ることで内面を解放し、交流する可能性をダンスで広げる〈ダンスンブル〉の活動と、藤平さんへのインタビューは、「U-50」でお読みください。

U-50 (アンダー50)

インタビュー/コラム形式で川崎市NPOで活躍する若手エースを紹介しています。ホームページで連載を更新中です。



◀アンダー50の連載はこちら

区域レベルの新たな仕組み

Topic

SDC

7区の特徴を反映する ソーシャルデザインセンターに 期待が高まります

それぞれ特色のある7つの区に、人口154万人の人々が暮らしている川崎市。地域社会の課題解決に向け、多くの市民活動団体が地域を拠点とした活動を行っています。

かわさき市民活動センターは、現在区域レベルで取り組んでいる「ソーシャルデザインセンター」やその準備会等との連携を図っています。また、市民活動の中間支援組織として、市内で活動する方々や団体を力強くサポートし、さらなる全市レベルでの市民活動の活性化をめざします。

キャッチフレーズは

「みんながつながる みんなが輝く | ♥ ASAO」 麻生区

あさお希望のシナリオ実行委員会

2020年1月、公募で集まった市民からなる「あさお希望のシナリオプロジェクト」が立ち上がった。2022年4月には「あさお希望のシナリオ実行委員会」が設立され、同年6月に麻生区と連携協定を締結。2024年度以降の麻生区SDC設立を視野に現在5つのプロジェクトを試行実施している。「SDC-Carプロジェクト」はそのひとつ。地域住民の気軽な相談窓口として、社会福祉士のほか多分野にわたる相談スタッフが専用車に乗り込み区内各地に出かけ、区民の声を聴き、相談にのる取り組みを開始した。問合せは、麻生区役所企画課。

▼ SDC-Carとプロジェクトのメンバー



詳しくは「つながぐど KAWASAKI」まちレポでお読みください。

中原区ソーシャルデザインセンター準備会

中原区



この秋の始動に向けて検討を重ねてきた中原区SDC準備会。6月15日にはオンラインと会場を合わせ40人が参加した(写真)。「知る」「集う」「つながる」などの機能を実践する「なかはら宝さがし隊」「課題チャレンジ」「交流会」の3つのグループが企画を発表した。Facebookの公開グループ「“超”ローカルかわら版_中原SDC」では113人*が参加し情報を発信中。気軽に参加できる温かい場を目指し、最終調整に入っている。(*8月15日時点、写真右) 問い合わせは、中原区役所企画課。詳細は区ホームページで▶



(一社)多摩区ソーシャルデザインセンター

多摩区

多摩SDC (2020年3月～)

多摩区総合庁舎(多摩区役所)1階に所在し訪れやすい。「まちのひろばの創出/中間支援・各種相談/創発の場作り」などの機能を掲げ、様々な取組を展開する。法人の代表理事を大学生の伊藤直人さんが務めている。多摩川河川敷での「登戸・たまがわマルシェ」企画には地元大学生110人が参加し、圧倒的な動員力をみせた。地域で子ども食堂を開きたい企業等への支援を行うほか、自らも区役所1階で子ども食堂を開催している。事務局長の俵さんは、地域の需要を掘り起こし、解決策などをロールモデル化してビジネスにするような試みを増やしたいと話す。今後はより広い世代で運営し、多方面に密着して伴走する予定だ。

電話: 044-281-4422

<https://tama-sdc.com/>



▲ 左から 学生代表・堀川華那さん
副代表・田村彩乃さん
事務局長・俵 隆典さん

さいわい ソーシャルデザインセンター

幸区

まちのおと (2021年1月～)

「知る・話し合う・学ぶ・相談する・つながる」の5つの事業を通して、交流や活動と団体をサポート。JR 鹿島田駅から徒歩2分の新川崎タウンカフェの中に所在。コーディネーターの岩川さんによると、立ち話的な相談(昨年度は180件程度)から具体的な地域活動相談に発展することも多いという。意見交換会や区の魅力を再発見する「まちあるき」を実施するなど地域内での交流機会を積極的に提供する。利用者は高校生～80歳代と幅広い。

公募で地域NPOとの協働事業も行う。きめ細かいマッチングと伴走の体制が整っている。



電話・FAX: 044-555-0233

<https://machinote.net/sdc/>

月に1度の定休日に場所を貸し出す

OPEN CAFE DAYも好評!

コーディネーター・岩川 舞さん ▶

(特非)姿勢教育の孝心会

(一社)グローバル文化協働支援センター

(福)青丘社

川崎区

川崎区ソーシャルデザインセンターモデル事業

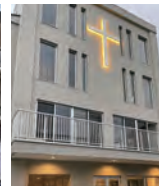
公募で選ばれた地域活動団体と区役所のネットワークにより「川崎区ソーシャルデザインセンターモデル事業」を実施。各運営団体の得意分野を活かしながら連携して「まちを良くするための相談」に対応したり、新たな地域活動への参加や交流のきっかけをつくることで、地域課題の解決や新たな価値を生み出す仕組みづくりを行っている。令和5年度まではモデル事業として運営し、令和6年度の本格実施を目指す。



コミュニティーハウスさくら



JDSビル



みんなの家



各運営団体の窓口や電話番号などは区ホームページを参照 ▲

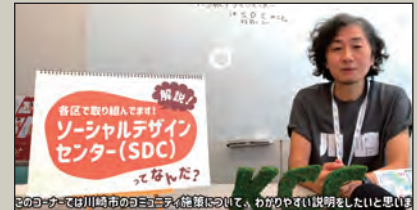
各区の取組状況 ソーシャルデザインセンターの創出など

「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」に基づき、各区において、多様な主体の連携により、市民創発によって課題解決する区域レベルの新たなしくみとして、地域でのさまざまな新しい活動や価値を生み出し、社会変革を促す基盤である「ソーシャルデザインセンター」の創出に向けた取組を行っています。

「ソーシャルデザインセンター」は、人や団体・企業、資源・活動をつなぐコーディネート機能とプロデュース機能や人材育成、まちのひろばへの支援等の機能を持つものとされていますが、各区の独自性を踏まえて、機能やエリア等できるところから、まずは試行的、実験的にスタートし、検証しながら徐々に高次機能を付加していくこととしています。2022年6月3日(川崎市ホームページ)

視聴はこちら!

SDCをわかりやすく解説! 川崎市のYouTubeチャンネルKCC
「川崎市の【ソーシャルデザインセンター】ってなんだ?」



(仮称)宮前区の「希望のシナリオ」実現プロジェクト

宮前区

SDC 立ち上げワーキンググループ

(仮称)宮前区の「希望のシナリオ」実現プロジェクトは、平成30年度にスタートし、「活動関連図」の作成や「現地ツアー」を行い、宮前区内の豊かな活動を確認・体験してきた。令和3年度には、宮前区らしいしくみは、「区内の豊かな活動を活かし、主体的に活動する既存の活動や人をつなぎ、さらに豊かにしていく『しくみ』や『しかけ』」という仮説に基づき取組を進めてきた。今年度は、公募で集まったSDC立ち上げワーキンググループメンバーとともにミーティング・実証を重ね、宮前区らしいSDCの立ち上げに向けて取り組んでいく。

問い合わせは、宮前区役所企画課。



地域の特性を活かして

高津区

高津区らしいSDCモデルを構築

高津区では、元来まちづくり活動が盛んな区の特性を活かし、区民、団体、事業者が連携した包括的なSDCモデルの構築に取り組んでいる。中でも、まちづくりに興味のある区民が気軽に参加できる「まちづくりカフェたかつ」には述べ100名以上が参加しており、新たなまちづくり人材の発掘につながっているほか、区内事業者が協力して課題解決を行う「たかつデザインラボ」では、脱炭素をテーマとした具体的なプロジェクトが生まれている。今後は誰でも気軽に相談できる窓口機能を備えていく予定。問合せは、高津区役所企画課。



アイデアをプロジェクト化する方法を学ぶ「まちづくりカフェたかつ」

「こども文化センターは、市民活動の地域拠点です」

こども文化センターは、地域の中で、小学生・中高生だけでなく乳幼児親子から高齢者まで、様々な世代が集まる居場所として、異年齢の子どもや多世代が集まり”つながり”を持てる施設です。小・中学生が学校に行っている午前中から放課後までの時間帯や夜間は、児童福祉関係者や市民活動における地域のみなさまの活動拠点としてご利用いただけます。



こども文化センター
団体利用ページ

例えば、各館に団体登録を行うことで、事前予約により各室を占有して利用することができます。打ち合わせや作業に使っていただけます。また印刷機の貸し出しも行ってまいりますので、チラシや会報等の印刷にご利用ください。

団体登録の方法や利用申請等の詳しい内容については、各館にお問い合わせいただくか、財団のホームページ(QRコードより)をご確認ください。

当財団では今後も、様々な活動をされている地域の方々との交流を通して、子どもたちの健やかなこころの成長を見守っていきます。

*このキャラクターは、「こぶんた」という名前です。当財団が管理運営する53施設のこども文化センターのキャラクターです。

今後のパワーアップセミナー

10/22 日

事業のロジックモデル(仮)

講師 武蔵大学教授
粉川一郎さん

11/12 日

助成金申請事業のコツ(仮)

講師 かわさき市民活動センター職員
金田浩司

12/3 日

明日から実践できる 活動を継続させるための 資金調達(初級)

講師 ファンドレイジングラボ
代表 徳永洋子さん

*時間は全て13:30~16:30



ごえん楽市 (10/1土曜日開催)

パネル展示は10月31日まで

イベントに参加した団体など、詳しくはホームページでご覧になれます。



2023年度

かわさき市民公益活動助成金

募集情報はホームページへも随時公開↓

11月募集 スタート



10月イベントは
#ごえん楽市2022
も追加! 詳細はHP



川崎市からのお知らせ

*新型コロナウイルスの影響により掲載している各講座は変更になることがあります。

NPO法人設立事務説明会を開催します

NPO法人制度の概要や設立認証申請の際の書類作成等のポイント、設立後に提出が必要になる書類についてご説明します。

日時 令和4年11月25日(金) 午後6時00分~午後8時00分

場所 多摩区役所 601会議室

対象 川崎市内でNPO法人の設立を検討している方や、法人格の取得を検討している団体の方

定員 20名 *先着順、事前申込制(1団体あたり2名まで)

申込方法 電話、FAX、川崎市ホームページのメールフォーム、または窓口で直接
*FAXの場合は、①お名前②団体名③参加人数④電話番号を必ずご記入ください。
*配慮が必要な方は11月11日(金)までにお申し込みの上、別途ご連絡をお願いします。

申込先 川崎市市民文化局市民活動推進課 川崎市HP
問合せ 電話:044-200-2341 FAX:044-200-3800

NPO法人 関連



12月は寄付月間

不用品回収ボックスを受付前に用意しました。
温かいキモチと古本などをお待ちしております。

キモチと。
powered by BOOK-OFF



■ご案内 MAP



ナンバーゼロ 2022年秋号(通巻No.303)

【編集・発行】

公益財団法人かわさき市民活動センター 市民活動推進課

〒211-0004 川崎市中原区新丸子東3-1100-12

電話:044-430-5566 FAX:044-430-5577

メール:suisin@kawasaki-shiminkatsudo.or.jp

WEB:http://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/



ポータルサイト「応援ナビかわさき」
http://kawasaki.genki365.net/